

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピーテラス鴻巣教室（児童発達支援）				公表日	2026年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・活動時には、パーテーションで区切り集中しやすいよう環境を整えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・必要に応じて、時間差でフィードバックを行うことがある。	・基本的に適切だが1枠に3名の利用者がいる際は慌ただしくなる。 ・もう少し職員がいるとよい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・玄関前にスロープを設置している。 ・教室内の段差には、段差注意の貼紙をしています。	・大きな問題はないが、教室内に段差あり。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日の清掃を行い、清潔な環境を心がけている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・必要に応じて相談室等の個室を使用することがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・朝礼・終礼でその日の利用児の様子を共有し、職員全体で振り返りや今後の活動について話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・法人内の事業所で共有し、次年度に向けて改善を目指している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年2回以上の法人としての面談を実施し、業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・県による実地指導を受け、業務改善に努めた。(2024年度実施)		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・毎月の勉強会の実施 ・外部研修を受ける機会を確保している。		
適切な支援の根	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・HP上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・職員全体の考えと保護者の方の考えをすり合わせて、支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・国の示す、個別支援計画作成のフローに乗っ取って作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・療育記録に支援目標を記載し、取り組み内容へ盛り込んでいる。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・活動の振り返りを重視し、次回の療育へいかしている。	・引き続き、日々の行動観察をアセスメントツールと合わせて、療育に活かせるよう、活用していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・国が示す個別支援計画の書式のフォーマットに合わせている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		・個別療育が多いため少ないが、集団イベント時は丁寧に確認を行っている。	

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・利用児童に合わせて、活動内容を精査している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・必要に応じて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・実施内容に合わせて、職員間で情報を共有し、実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・終礼時の振り返りの時間を確保し、記録に残しながら次回の療育にいかしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・終礼時の振り返りの時間を確保し、記録に残しながら次回の療育にいかしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的に見直しの機会を設け、面談等を通じて行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・必要に応じて保育所等への訪問を行い連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	・必要に応じて保育所等への訪問を行い連携を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	・要望に合わせて、連携をとれる体制に整えている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	・自立支援協議会への参加などを通じて、学ぶ	・幅広く職員が参加できるよう体制を整えていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		・現時点では実施していない。ニーズに合わせて検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時やフィードバック時に行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・教室内に県やHT本部の案内を提示している。	・行っているが実際の参加者は少ない。 ・周知活動を行っていく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時等に説明や事業所内に掲示している。	・周知活動に努めていく。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・アセスメントツールの使用やモニタリングでお子様の状況や保護者の方の考えを尊重して作成している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・原案を示し、説明を行って同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・振り返りの時間に保護者様からの悩み等に対して、助言や援助を行っている。その他、ご希望があれば面談を設定する。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	・集団イベントによっては、きょうだいの参加も受け入れている。	・参加のあり方、取り組み内容等を含め、引き続き検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・対応している。利用時のフィードバックでは時間が足りないなどあれば別途で面談の機会を設けるなど工夫している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・法人内の教室と合同で毎月手紙を発行している。 ・リタリコ発達ナビのブログにて教室の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・現在、相談支援事業所の見学などは積極的に行っている。	・今年度未実施、次年度以降検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各種作成済み、毎年人員配置変更や法令の変更に伴い更新している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・策定し、法令等に則って実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	・特記事項等あれば、利用開始前の事前連絡で把握している。 ・予防接種については短時間通所の為、確認は必須とはしていない。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・契約時、保護者アンケートにて、把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・法令等に則って実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・周知活動を行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・終礼でその日のヒヤリハットを確認し、防止に向けた方策を話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・全職員へのチェックリストへの記入や委員会を中心とした研修の機会を設けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束の三原則にあたる児童のみに身体拘束を行っています。保護者様へ説明をし、了承を得て実施している。		